

# 週報 南相馬ロータリークラブ 第2530地区

2017-18年度 第10回/通算 第458回

日時：2017年9月13日（水）12：30～

場所：ウエディングパーク原町フローラ

南相馬市原町区高見町 2-30-6

## 東北アクセスと地域とのかかわり

遠藤 竜太郎 会員



会長 小澤 積



幹事 高橋 秀夫



### Program

開会点鐘/「ロータリーソング」「我等の生業」「四つのテスト」唱和/お客様並びに来訪ロータリアン紹介/会長の時間/新会員紹介・バッチ交付式/昼食/会員卓話/幹事報告/各委員会報告/出席報告/スマイルボックス報告/閉会点鐘

### 会長の時間 「親睦のロータリーソング」

ロータリーソングの誕生についてお話しされました。ポールハリスが第3代目会長になった頃、クラブ内の路線対立で出席率も低下するという事態が起こります。ぎすぎすした雰囲気や和らげようと親睦委員長の医師ウィリアム・ネフは「このままではクラブは崩壊する。君が毎週立

ち上がり、楽しく歌ってこの危機を救ってくれ」とロータリー入会者5番目の印刷屋のハリ・ラグルスに懇願します。当時流行っていた歌を何曲か音頭を取って歌いました。以来、クラブの団欒は魅り、これが何年も続いて、例会での合唱はロータリーの伝統となりました。

### 来訪ロータリアン紹介

福島21RC 伊藤 淳一 様

小澤さんが会長になったら必ずお邪魔するというので今回例会に参加させていただきました。今年度は県北第一分区の分区幹事を務めています。優秀な先輩のもと、ご指導を受けながら勉強させて頂いています。本日は、宜しくお願いします。





東北アクセスという会社は、私が立ち上げたわけではなく以前、原町 RC にいらっしゃいました、佐藤邦夫さんが自営を営むため（娘

さんの病気の為）家族3人で始められた会社です。当時、私は常磐交通会社の管理をしていました。平成16年小泉政権により、競争で世の中を活性化させてくださいという時代でした。経営が厳しく、リストラを告知し、自分も危機を感じていました。そんな時に邦夫さんが事故に遭われてしまいました。私に声を掛けてくれ、会社を買って欲しいと言われ、引き受けることにしました。平成17年2月に会社を引き受け、仕事が全く無かったことにびっくりしました。そんな時、葬祭業界が、自宅葬から会館葬になったことからバスの運行を引き受けました。葬儀なので、今日、明日の仕事です。地域の為に必要な仕事だと思い、絶対断らないことを会社の方針に、平成17年の3月から葬祭関係の仕事を年に約300回こなすようになりました。そんな時、東日本大震災が起き、仕事が一切なくなりました。社員40人のうち35人が辞めてしまいました。そんな時、市役所の依頼で児童の学校への送迎、JRの代行としての仕事を引き受けました。少ない社員でバスをまわし始めま

したが、JRの開通にともない「明日からバスはいらない」と急に言われ、その時に考えたのですが、真のお客様ってなに？行政・旅行会社・エージェント、そうじゃないよね。真のお客様は、乗ってくれる人・バスを利用してくれる人と思い、そこで南相馬市⇔仙台間の運行をするようになりました。当時、福島行のバスは運行していませんでしたが、お客様から問合せが来て「福島交通さんで運行していますよ」と返したら「おらが町のバス会社は、東北アクセスさんだべ」と言われ、地域の役に立っていることに嬉しく感じました。その後、福島の運行もスタートし現在に至ります。現在は、売上が下がってきています。そんな中で次に地域の為に何をやって行くかを考え、南相馬市広域交通ネットワーク構想を4年前に考えました。莫大な資金が掛かる為、市役所、次に商工会、県まで行きましたが全て断られました。霞が関まで行きました。2年後、知事特任ということになり、南相馬市 IC ターミナルの建設が始まりました。方向性を変えて考え、あきらめないことが大切であることを実感しました。今、地域とのかかわりとして次世代交通のイノベーションを見据えた自動運転などの技術導入の試行、新たな拠点と新規の需要に対応した交通アクセスの確保を考えています。

### 幹事報告

- 第4回の理事会の報告がありました。
- 南相馬市国際交流協会より姉妹都市派遣交流事業の御礼が届いています。
- ロータリー財団より「ご寄付が支える識字率向上プロジェクト」メールが届いています。

### 各委員会報告

- 会計の青木会員より、8月の会計報告がありました。
- 社会奉仕委員長佐久間会員より、8月のごみ資源回収費の報告がありました。

## ■スマイルBOX 報告

計¥16,000. 累計¥183,090.

青木謙二	1,000	伊藤様メーカーキャップありがとうございます。	遠藤竜太郎	1,000	出席できるようがんばります。
大谷和年	1,000	伊藤様、遠いところありがとうございます。	木幡恵一	1,000	卓話ありがとうございます。
岡田義則	1,000	伊藤様来訪ありがとうございます。	佐久間岩男	1,000	
酒井善盛	1,000	福島21RC伊藤さんようこそ！！	村上正孝	1,000	
小澤 積	1,000	伊藤さんありがとうございます。遠藤会員卓話ありがとうございます。	宮城住夫	1,000	
渡部亜季	1,000	いい天気でもはればれです。	伊藤淳一様	5,000	(福島21RC)

## ロータリー財団

計¥6,000. 累計¥116,000.

## 米山奨学会

計¥6,000. 累計¥88,000.

出席報告：会員数31名 出席数13名 出席率42%

東京杉並RC創立30周年記念事業が、9月12日(火)の福島民報新聞に掲載されました。

**小高の小中校に本1000冊**  
東京杉並RC 30周年で贈る

東京の東京杉並ロータリークラブ(RC)は、八日、南相馬市の小高区四小(小高小)と小高中(小高中)に図書合わせて約千冊(約百五十冊)をラレセントした。姉妹クラブの南相馬RCの協力を得て、東京杉並RCの創立三十周年記念事業として実施した。

小高小で行われた約500冊の図書の贈呈式で記念撮影する関係者

書協定を結んでいる縁で、両クラブは姉妹クラブとなった。東日本大震災後、東京から多くの支援を行ってきたが、今回も記念事業に合わせて未来を担う児童、生徒のために図書を贈ることとした。この贈呈式は西校が合同で授業を行う小高小の体育館で行われた。東京杉並RCの十七人と南相馬RCの十七人が訪れ、六十二人の児童が出席した。東京杉並RCの小竹良夫会長、南相馬RCの小沢積会長があいさつ。小竹会長が児童代表の鈴木孝君に自筆の手書した。茂木大智君が「たぐさんの本をありがとうございます」と述べ、全員で「ピリッ」を合唱してお礼の気持ちを伝えた。東京杉並RCで新聞図書を担当した藤原伸次さんが、図書を贈るとへの思いを児童に語った。

図書は全児童の意向をもとに、名作選やシリーズなどが選ばれた。児童は早速希望の本を手にし、読書を楽しんだ。小高小、中学校各約五百冊ずつ、両校の図書館に置かれ貸し出される。



Rotary  **南相馬ロータリークラブ** Since.2007

会長：小澤 積 / 幹事：高橋 秀夫

水曜日 12:30~13:30場

例会場：フローラ原町 南相馬市原町区高見町2丁目30-6 TEL 0244-24-2888

今週のランチ

事務局：南相馬市原町区錦町2丁目68-6 TEL 0244-23-1268

FAX 0244-26-5935HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp

